

7月7～9日にかけて北海道洞爺湖サミットが開催されましたが、北海道では春からサミット終了まで、いたる所で厳重な警備態勢が敷かれました。各国の政府専用機がずらりと並んだ千歳空港周辺や洞爺湖畔だけではなく、田舎の国道でも検問を行っていましたし、山菜採りに行った山中でパトカーを見かけたこともあります。わが家のすぐ近くにはG8某国の領事館がありますが、4月からサミット終了まで、アリが入り込む隙間もないくらいの厳戒態勢で、おかげさまでその期間は非常に安全な街になっていました。とりあえず、大きな事件・事故もなく終了し、各方面の関係者は安堵されたことでしょう。

サミットに先立って、札幌では登山家の野口健氏による環境フォーラムが開かれました。地球温暖化を主題とした講演とシンポジウムで構成されていましたが、野口氏の実体験に基づくヒマラヤの水河の現状報告には説得力がありました。会場には、地球温暖化によって海中に消えゆくであろうと言われる南洋の国ツバルを写真で報告し続けている遠藤秀一氏の姿もあり、自身の生活のあり方を改めて問い直すよい機会になりました。しかし、環境サミットとさえ言われた北海道洞爺湖サミットの総括を聞いた時、サミット期間中、洞爺湖一帯がほとんど晴れ間を見せなかったことと重ねて受け止めたのは、私だけではないのかもしれない。「世界は地球環境と食料問題などを中心に paradigm shift していくべきである」とその道の専門家たちは声を揃えて述べていましたが、地球よりもそれぞれの国益が優先されるという展望のない結論に私は落胆してしまいました。

わが国の医療、とりわけリハビリテーションサービスについても paradigm shift を求めています。医療から介護への移行については課題が山積しており、その橋渡しをどのように行うのか、介護保険領域の中であって、多職種との連携をどのようにとるのか、理学療法士としての専門性をどのように活かしていくのかなど、検討しなければならないことがたくさんあります。本号の特集では「介護保険下の理学療法」と題して、浜村氏には医療から介護への移行と課題について、塩中氏には介護保険下での理学療法の役割や職域の拡大について、大淵氏には介護予防と運動器の客観的評価および機能向上について解説していただきました。4氏による座談会でも介護保険下における具体的な課題が明らかにされましたが、来年度の介護保険の改定でも理学療法士に対する期待が形として現れることを望みます。あてな「平成20年度診療報酬改定の概要」で泉氏が述べているように、目先の報酬だけに気をとられるのではなく、これからのリハビリテーションのあり方について十分考えた対応が必要であると思います。

私は、とびら欄にある亀井法悦氏の書にたくさんの方の力を与えていただいています。日展に入選された後に右手で筆を持つことができなくなり、筆を左に持ち替えて創作されたその書は繊細でいて力強く、いつも心に響いています。「大海、魚躍るに任ず」、たまには海に出かけて、大いにはしゃいでみたいものです。

(吉尾雅春)

理学療法ジャーナル

(第42巻 第8号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2008年8月15日発行(毎月1回15日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当: 松田・吉永・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

〔2008 年年きめ予約購読料 20,880 円〕
(全 12 号、配送料弊社負担)

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
奈 良 勲
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 井 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 田 一 彦
横 山 有 里
渡 辺 典 子